

令和6年度 事業報告

1. 概況

- ① 昨年度購入した西神田のビルの改装工事を行い、1月より新校舎で授業を開始した。また、これに伴って神田小川町のビルを売却し購入資金の一部とした。
- ② 文部科学大臣による高等教育の修学支援新制度の対象校として、両校共に埼玉県、東京都より継続して認定を受けている。
なお、同制度により授業料、入学金の減免措置を受けた学生は、埼玉校で18名(約766万円)、東京校で7名(約319万円)であった。
- ③ 令和7年度新入学生に対する募集活動の結果、埼玉校が60名、東京校が42名を受け入れることとなった。この内、留学生は埼玉校で5名、東京校で2名であった。
- ④ 依然として退学者をゼロとすることができず、埼玉校では6名が退学(退学率5.4%)、東京校では2名(退学率3.2%)が退学した。

退学理由は以下の通り

- ・埼玉校 6 名 1 年生 5 名（学習意欲の低下 1 名、学校生活への不適合 1 名、
精神面の不調 1 名、学業不振 1 名、自己都合 1 名）
2 年生 1 名（学習意欲の低下）
- ・東京校 2 名 1 年生 2 名（学習意欲の低下 1 名、体調不調 1 名）

2. テクノ・ホルティ園芸専門学校(埼玉校)の状況

- ① 卒業生 46 名中、関連業界への就職を希望していた者は 43 名、内 42 名が就職決定となった(98%)。就職未定者には引き続き指導を続けている。また、就職を希望しない学生を減らすことが今後の課題である。
- また単位不足で卒業延期になっている卒業予定者 4 名に対して、補講などを行い卒業に向けて指導をしている。(5 月 16 日をもって全員卒業となった)

- ② 令和7年度の入学者は60名となり、前年度と比べて2名の減少。特にフラワーコーディネートコースの入学者が半減したことが大きな要因である。それ以外のコースも引き続き入学者増に注力する必要がある。

各コースの入学者数は以下の通り（カッコ内は前年度の入学者数）

- ・花き生産 7 名(6 名) ・野菜生産 11 名(13 名) ・造園 15 名(8 名)
・グリーンコーディネーター 14 名(9 名) ・フラワーコーディネーター 13 名(26 名)

- ③ 「就農準備資金（農業次世代人材投資事業）」（農林水産省）の認定を受けていた 2 年次生 3 名（うち 1 名は 2 年次より認定）は雇用就農した。また、1 年次生 1 名が新たに認定を受けている。

④ 資格取得の状況

○ フラワー装飾技能士	2 級	21 名合格 (24 名受検)	88%
	3 級	12 名合格 (15 名受検)	80%
○ 園芸装飾技能士	2 級	11 名合格 (14 名受検)	79% (内・優秀賞 1 名)
	3 級	14 名合格 (14 名受検)	100% (内・優秀賞 1 名)
○ 造園技能士	2 級	7 名合格 (8 名受検)	88%
	3 級	6 名合格 (7 名受検)	86% (内・優秀賞 1 名)
○ 商品装飾展示技能士	3 級	2 名合格 (2 名受検)	100% (内・優秀賞 1 名)
○ 日本農業技術検定	1 級	2 名合格 (8 名受検)	25%
	2 級	5 名合格 (17 名受検)	29%
	3 級	8 名合格 (16 名受検)	50%
○ POP 広告クリエイター		5 名合格 (9 名受検)	56%
○ 色彩検定	2 級	7 名合格 (9 名受検)	78%
	3 級	10 名合格 (13 名受検)	77%
○ 土壌医検定	2 級	1 名合格 (1 名受検)	100%

※労働基準法上必要な技能講習なども積極的に取得するように指導している

⑤ 各種コンテストや競技会への参加状況と結果

- 令和 5 年度の技能五輪全国大会で金賞を受賞した卒業生が、9 月にフランスで開催された国際大会フラワー装飾部門へ出場して 7 位に入賞した
- 第 62 回技能五輪全国大会のフラワー装飾部門に埼玉県代表として 2 名が出場し、銀賞、敢闘賞を受賞した（同じく卒業生 2 名が参加し、銀賞、銅賞を受賞している）
銀賞を受賞した学生は、令和 7 年度に台湾で開催のアジア大会に出場予定である
- ふかや花フェスタのガーデニングコンテスト「オリジナル箱庭部門」に出展したグリーンコーディネートコース 2 年生の内、1 名が優秀賞、2 名が特別賞を受賞した
- 2027 横浜国際園芸博覧会への出展が決定した

⑥ 昨年度同様に安全教育を徹底し、電動工具などの取扱い上の注意点や高所作業における危険防止策などの講習を実施している。

しかしながら、造園コースの 1 名が電動工具で作業中に怪我をする事故が生じたため、改めて教職員、学生ともども安全教育の重要性を認識した。

⑦ 昨年度より整備を進めていたイチゴ苗生産専用ハウスと自動環境制御ハウスの授業・実習への活用が始まった。また、「埼玉県民間事業者 CO₂ 排出削減設備導入補助金」事業により設置した温室のヒートポンプも順調に稼働している。

- ⑧ 資格取得授業および選択科目の聴講制度に1名の受講があった。
また、造園コースの授業を卒業生が1名聴講した。
- ⑨ 地域や団体と連携したいくつかの取り組みを行った。
- ・ 埼玉県の実業学校である小学生対象のフラワーデザイン教室「夢を見つける！ リアル体験教室」を本年度も実施し40名が参加した
 - ・ 行田市からの委託によりフラワーコーディネートコースの学生が近隣の神社、郵便局で定期的に花手水の作成・管理を行っている
 - ・ 卒業生が支部長を務める（一社）日本庭園協会 埼玉支部、同じく代表を務める（一社）日本造園組合連合会 埼玉県支部青年部がそれぞれ主催する造園技術の研修会が本年度も造園実習場で行われ、造園コースの教員や学生が参加した
 - ・ フLOWER装飾技能士(厚生労働省)2級の検定会場として、本校のフラワーデザイン実習室(ホール)が使用されている
 - ・ 特別養護老人ホームや高齢者介護施設において植物の装飾・管理や季節のフラワー装飾、花壇作成を行っている
 - ・ 行田市内の商業施設で農場生産物や商品を定期的に販売している
 - ・ 近隣の小学校において6年生の児童およびその保護者に対して園芸教室を開催した

3. 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の状況

- ① 令和7年1月より千代田区西神田のビルでの授業を開始した。これに伴って、教育用機器備品などの更新を行い、教育環境、就業環境の改善を図るように努めている。
- ② 卒業生19名中、フラワー・園芸業界への就職を希望していた19名中17名(89%)が就職決定した。就職活動中の2名に対しては引き続き支援を続けている。
また、卒業延期になっている学生1名に対して、補講などを行い卒業に向けて指導をしている。(4月30日に卒業要件を満たしたため、無事に卒業となった)
- ③ 令和7年度の入学予定者は42名と令和6年度と同数であった。2年次への進級者は退学者が2名あったため40名、在学者数は82名と前年度比20名増となる。
- ④ 資格取得やコンテストへの出展状況

○ 資格取得の状況

・ フLOWER装飾技能士	2級	14名合格 (14名受検)	100%
	3級	21名合格 (24名受検)	88%
・ 園芸装飾技能士	3級	5名合格 (5名受検)	100%
・ NFDフラワーデザイナー	3級	9名合格 (9名受検)	100%
・ カラーコーディネーター	スタンダードクラス	23名合格 (32名受検)	72%
・ ビジネス能力検定	3級	33名合格 (40名受検)	83%

- 授業の一環として次のコンテストなどに出展した
 - ・ 第 62 回技能五輪全国大会（愛知大会）のフラワー装飾部門に東京都代表として 4 名が出場した、全国から参加した 43 名の選手に伍して 1 名が敢闘賞を受賞した。
 - ・ 例年実施している「ホテル聚楽」の館内装飾、「三井住友海上火災保険ビル」の緑地整備を本年度も継続して実施した

以上

令和6年度 資金収支計算書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部			
学生生徒納付金収入	236,328,000	236,605,504	277,504
手数料収入	673,000	582,800	△ 90,200
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	15,209,000	15,448,018	239,018
資産売却収入	720,000,000	720,000,000	0
付随事業・収益事業収入	13,544,220	13,328,187	△ 216,033
受取利息・配当金収入	15,500	95,209	79,709
雑収入	3,482,780	2,972,336	△ 510,444
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	154,600,000	173,346,000	18,746,000
その他の収入	154,376,619	103,608,341	△ 50,768,278
資金収入調整勘定	869,448,277	867,978,917	△ 1,469,360
前年度繰越現金預金	169,306,477	169,306,477	0
収入の部合計	2,336,983,873	2,303,271,789	△ 33,712,084
支出の部			
人件費支出	141,749,000	142,127,153	378,153
教育研究経費支出	84,683,738	84,742,866	59,128
管理経費支出	86,516,262	87,771,909	1,255,647
借入金等利息支出	25,400,000	25,414,088	14,088
借入金等返済支出	660,913,000	662,223,000	1,310,000
施設関係支出	39,200,000	40,416,000	1,216,000
設備関係支出	13,920,000	15,195,003	1,275,003
その他の支出	168,411,545	121,391,990	△ 47,019,555
資金支出調整勘定	1,055,103,682	1,053,502,064	△ 1,601,618
翌年度繰越支払い資金	61,086,646	70,487,716	9,401,070
支出の部合計	2,336,983,873	2,303,271,789	△ 33,712,084

令和6年度 事業活動収支計算書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支			
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	236,328,000	236,605,504	277,504
手数料	673,000	582,800	△ 90,200
寄付金	0	0	0
経常費等補助金	15,209,000	15,448,018	239,018
付随事業収入	13,544,220	13,328,187	△ 216,033
雑収入	732,780	221,086	△ 511,694
教育活動収入計	266,487,000	266,185,595	△ 301,405
事業活動支出の部			
人件費	139,669,000	137,894,820	△ 1,774,180
教育研究経費	110,376,738	111,416,076	1,039,338
管理経費	89,848,262	91,732,041	1,883,779
徴収不能額等	0	945,000	945,000
教育活動支出計	339,894,000	341,987,937	2,093,937
教育活動収支差額	△ 73,407,000	△ 75,802,342	△ 2,395,342
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
教育活動外収入計	15,500	95,209	79,709
事業活動支出の部			
教育活動外支出計	25,400,000	25,414,088	14,088
教育活動外収支差額	△ 25,384,500	△ 25,318,879	65,621
経常収支差額	△ 98,791,500	△ 101,121,221	△ 2,329,721
特別収支			
事業活動収入の部			
特別収入計	549,984,039	549,984,039	0
事業活動支出の部			
特別支出計	0	697,001	697,001
特別収支差額	0	549,287,038	549,287,038
基本金組入前当年度収支差額	451,192,539	448,165,817	△ 3,026,722
基本金組入額合計	△ 14,626,462	△ 14,626,462	0
当年度収支差額	436,566,077	433,539,355	△ 3,026,722
前年度繰越収支差額	△ 743,174,095	△ 743,174,095	0
基本金取崩額	324,496,152	324,496,152	0
翌年度繰越収支差額	17,888,134	14,861,412	△ 3,026,722

(参考)

事業活動収入計	816,486,539	816,264,843	△ 221,696
事業活動支出計	365,294,000	368,099,026	2,805,026

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	1,350,206,650	1,495,941,951	△ 145,735,301
有形 固定 資産	1,340,419,564	1,485,831,467	△ 145,411,903
その他の固定資産	9,787,086	10,110,484	△ 323,398
流動資産	106,052,206	207,127,693	△ 101,075,487
資産の部合計	1,456,258,856	1,703,069,644	△ 246,810,788

負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	563,655,595	1,177,359,678	△ 613,704,083
流動負債	217,260,762	298,533,284	△ 81,272,522
負債の部合計	780,916,357	1,475,892,962	△ 694,976,605

純資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
基本金	660,481,087	970,350,777	△ 309,869,690
第1号 基本金	660,481,087	970,350,777	△ 309,869,690
繰越収支差額	14,861,412	△ 743,174,095	758,035,507
翌年度繰越収支差額	14,861,412	△ 743,174,095	758,035,507
純資産の部合計	675,342,499	227,176,682	448,165,817
負債及び純資産の部合計	1,456,258,856	1,703,069,644	△ 246,810,788

財 産 目 録

(令和 7 年 3 月 31 日 現在)

1. 資 産 総 額	金	1,456,258,856 円
基 本 財 産	金	1,343,706,650 円
運 用 財 産	金	112,552,206 円
2. 負 債 総 額	金	780,916,357 円
固 定 負 債	金	563,655,595 円
流 動 負 債	金	217,260,762 円
3. 正 味 財 産	金	675,342,499 円

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 20 日

学校法人 伊東学園
理 事 会 御中
評議員会 御中

学校法人 伊東学園

監 事 丹羽理恵

監 事 石原嘉久

私たちは、学校法人伊東学園の令和 6 年度(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)における会計制度の整備及び運用の状況並びに資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表について監査を行った。

(監査事項)

1. 会計制度の整備及び運用の状況について
 - 監査の結果、私たちは会計制度の整備及び運用の状況は妥当であると認める。
2. 資金収支計算書について
 - ① 資金収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
 - ② 資金収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
3. 事業活動収支計算書について
 - ① 事業活動収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
 - ② 事業活動収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
4. 貸借対照表について
 - ① すべての資産及び負債は、学校法人会計基準の定めるところに従って正しく計上されている。
 - ② 基本金及び消費収支差額の計上については、学校法人会計基準の定めるところに従って計上されている。
 - ③ 貸借対照表の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
5. 学園の事業遂行状況について
 - ① 学園の事業遂行に関しては、園芸業界への有為な人材育成輩出が順調に推移するなど適正に遂行されている。
 - ② 学園の業務・財産の状況、理事の業務執行に関して重大な法令および寄附行為に違反する事実は認められない。

以上

役員名簿

令和7年5月1日現在

役職	氏名	学内 学外	選任区分	任期
理事長 校長	伊東 政信	学内	6-1-1	令和4年12月26日 ） 令和7年度定時評議員会の終結の時まで
理事	伊東 哲也	学外	6-1-2	令和4年12月26日 ） 令和7年度定時評議員会の終結の時まで
理事	村山 忠	学外	6-1-2	令和4年12月26日 ） 令和7年度定時評議員会の終結の時まで
理事	江藤 馨	学外	6-1-3	令和4年12月26日 ） 令和7年度定時評議員会の終結の時まで
理事	高橋 康夫	学外	6-1-3	令和4年12月26日 ） 令和7年度定時評議員会の終結の時まで

選任区分（寄附行為による規程）

- 6-1-1 テクノ・ホルティ園芸専門学校、東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の校長の内、
理事会で選任された者
- 6-1-2 評議員の内、評議員会で選任された者
- 6-1-3 学識経験者並びに教育・文化事業を行う者の内から理事会で選任された者